

平成18年度 和歌山県文化賞

みち うら も と こ 道 浦 母 都 子

住 所：大阪府吹田市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和22年

◎業績及び経歴

昭和22年、和歌山市に生まれる。

高校時代より短歌を作り新聞等に投稿、早稲田大学文学部在学中の昭和46年、短歌誌「未来」に入会、近藤芳美氏に師事する。昭和56年、第一歌集「無援の抒情」で「短歌界の芥川賞」と呼ばれる第25回現代歌人協会賞を受賞した。

その後、歌集「風の婚」、「夕駅」、「青みぞれ」等を刊行、関西の街や風土を美しくやさしく歌い上げ、平成17年には、「道浦母都子全歌集」を刊行する。

作歌活動のかたわら、評論やエッセイも手がけ、エッセイ集「母ともっちゃん」、「女歌の百年」、「百年の恋」等を刊行、中でも、故郷紀州への思いを綴ったエッセイ「故郷遡行」は、高等学校現代文の教科書にも収録されている。

また、音楽家とのジョイントコンサートや朗読会などの活動も展開、さらに平成10年、都はるみが歌う「邪宗門」で初めての作詞を手がけ、「歌謡曲の変革」と話題を呼んだ。平成17年には、心の母郷である枯木灘をテーマに、2曲目の「枯木灘残照」を作詞する。

現在、小説にも分野を広げ、「小説現代」に「歌から歌への物語」を連載中。

日本を代表する歌人の一人として、幅広く活躍している。

■現在

歌人

現代歌人協会会員

日本文芸家協会会員

日本音楽著作権協会会員

静岡新聞読者短歌欄選者

信濃毎日新聞読者短歌欄選者

中国新聞読者短歌欄選者

大阪府吹田市教育委員

環境省中央環境審議会瀬戸内海部会委員

朝日放送番組審議会委員

■主な表彰歴等

昭和56年 第25回現代歌人協会賞

平成3年 第46回大阪日日新聞文化牌

平成4年 和歌山県文化奨励賞